

医療現場では悲鳴が
上がっています



新型コロナウイルス感染拡大による「医療崩壊」が危惧される背景には、構造改革路線の下で効率最優先の医療提供体制への再編・縮小や、医師・看護師をはじめとする医療従事者の抑制政策が進められ、感染症対策の要となる保健所を減らしてきた政府の医療・社会保障政策があります。

そのことが医療現場に多大な混乱と苦難をもたらし、国民のいのちを危うくしています。

マスク、防護服、
消毒液が
足りない

いくら保健所に
連絡をしても
つながらない。
つながっても
PCR検査を受け付けて
もらえない

休みたくても
休めない

陽性患者
受け入れのため
応援スタッフを
送ったので業務が
困難

新型コロナに
重点を置いた運営を
行った結果、
コロナ以外の外来、入院、
予定手術が減少し、
大幅な減収を
余儀なくされた

私たちは国民が安心して
暮らせる社会の実現のため、
衆参両院議長宛てに
要請します

請願項目

- 1 今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
- 2 公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
- 3 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
- 4 保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
- 5 社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

是非、署名にご協力ください



ネット署名も
実施しております。
左のQRコードから
賛同をお願い
いたします。

これからも
国民のいのちと
健康を守るため



医療・介護・
福祉を拡充してください